

2003.4.1

MIYOSHI

INFORMATION お知らせ版



ハザードマップはご家庭の壁に —ハザードマップを作成—

平成12年9月に起きた東海豪雨。100年に一度といわれるほどの雨が降り、床上・床下浸水など三好町にも大きな被害をもたらしました。

三好町では、東海豪雨を教訓にして平成13年2月に学識経験者やライフラインの関係者で構成される「三好町地域防災計画専門委員会」を設置。風水害対策などを検討していただきました。その結果、平成13年8月に提言の一つとして、浸水災害個所などを示した地図を作成してはという提案を受けました。これを機に今回のハザードマップは作られています。

ハザードマップは、愛知県が公表した想定資料に基づき、東海豪雨並みの雨が降ったとき、どのような災害が発生するのかを、地図に示したものです。地図には、予想される浸水災害個所のほかに、避難場所や災害に対する日ごろの備えなども示されています。家庭内の壁など、家族がいつでも見ることができる場所にはっていただければ、また家族で避難場所の確認や災害について話し合ってください。機会になればと思います。

なおハザードマップは、今回の4月1日号の広報に折り込んで、全戸配布しています。届いていない場合などはお問い合わせください。

▶問い合わせ=交通防災課 ☎(32)8046 FAX(32)2165